

# 夢 塾 だ よ り

## ～ 教えることの難しさ ～

(第13号) 平成30年7月15日



作家、井上ひさしさんの  
のモットーです。

「むずかしいことをや  
さしく、やさしいことを  
ふかく、ふかいことをお  
もしろく、おもしろいこ  
とをまじめに、まじめな  
ことをゆかいに、そして  
ゆかいなことはあくまで  
ゆかいに」

このフレーズに10年  
ほど前に出会いました。  
これこそ教師の仕事の神  
髓を言い得ているのでは

ないかと思っています。数学は難しい問題が多くあります。問題が難しければ難しいほど易しく教えなければ聴いてくれる人を理解させる事ができません。考えてみれば、私の仕事は、難しいことをいかに易しく伝えるかということに心血を注いできた40年かもしれません。なるべく平易な言葉でなるべくシンプルに、無駄をそぎ落としてしかもリズムカルに……。ところが次の段階「易しいことを深く」これは難しい。易しいことを深く教えるには莫大な準備と努力がいります。人間的な深みと経験、そして宇宙的な教養が必要とされます。これは至難の業です。いまだにこれはできません。さらに深いことをおもしろく。やはりできない。おもしろいことを真面目に。……。最後は愉快なことはあくまで愉快に。締めくくりは「ゆかいに」なんですね。

難しいことの解決からはじまった人の世は、巡り巡って最後に「ゆかい」人生の締めくくりは愉快でおえることが井上ひさしさんの理想だったのです。

愉快と言えば私は野球やサッカーより相撲が好きで、相撲だけはよく見えています。今場所の名古屋場所。3人の横綱がすべて休場で1人もいない19年ぶり場所になり、優勝争いが面白くなっています。今場所のことを「禁煙」の場所と言います。その心がお分かりですか。なんで「禁煙」の場所??」禁煙のことを英語では “ No smoking ! “ と言いますね。

「ノー スモウ キング」 スモウのキングがいない。横綱がいない。

「夢塾」は、難しいことが愉快になることを目指しています。